

月刊 やちまなこ

2019. 2.15 発行

No.255

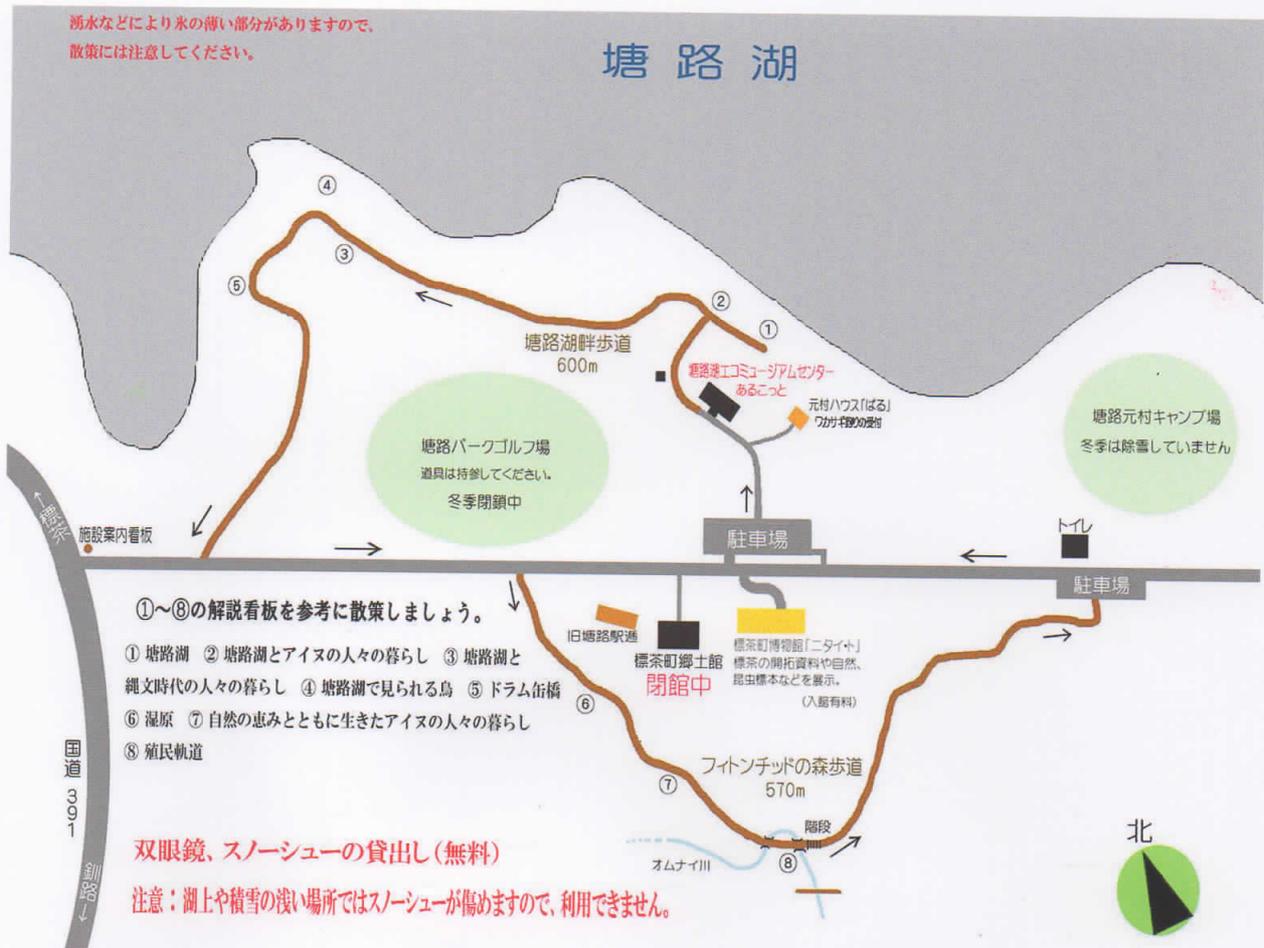
2月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



湿原散歩

連休中の最低気温が氷点下20度以下となり、特に9日には29.1度を記録した。重たく感じる空気の中で呼吸すると咳き込んでしまう程で、じっとしていると足元からジンジンと痛みを感じ、頬に手を当て、足踏みしながら列車を待っている。少し遅れて到着した列車は雪をまとい、ドアが開いた途端に乗客は雪崩込むように車内へと消えた。遅れた分を取り戻すかのように列車は徐々に加速しながら、やがて樹氷輝く湿原へと向って行った。



塘路フィールドノート【1/15～2/14】

【野鳥】

立春を過ぎ、塘路湖畔に小鳥たちのさえずりが聞こえるようになってきました。一方、2月に入ってからの厳しい冷え込みで、わずかに残っていた水面は完全に凍結し、水鳥やワシたちの姿は見えなくなってしまいました。



ヤマセミ (塘路湖畔)

たまたま目を向けた方向にトサカのような頭を発見。樹上で辺りを窺っていました



カワセミ (塘路湖畔)

樹上で小魚を食べていたところ。最近、センター周辺で採餌している姿をよく見ます



ツグミ (塘路湖畔)

センターの前をうろろろしていました。嘴にくわえているのはニシキギの赤い実



セグロセキレイ (塘路湖)

凍結した湖面の上を疾走中。よく足を滑らせないものだと感心してしまいました



シジュウカラ (塘路湖畔)

カラマツの球果を夢中でつついています。今冬は非常に元気でよく目立つ気になります



(シマ) エナガ (塘路湖畔)

雪景色が似合う野鳥と言えばやはりこの鳥。動きもコミカルで見えていて飽きません

【動物】

1月の下旬ごろから積雪が増え始め、ようやく雪の上の動物たちの足跡が目立つようになってきました。2月に入ってから厳しい寒さが続いている塘路湖畔ですが、動物たちは元気に湖畔を歩き回っているようです。



エゾシカ (コッタロ湿原)
二本松橋付近で見つけた子鹿。雪の間から顔を出すわずかな草を夢中で食べていました。



トウキョウトガリネズミ (あるこっと)
ある日センターに迷い込んできた珍客。頭胴長5cm弱で世界最小の哺乳類の一つです。



エゾリスの足跡 (フトナツドの森)
今冬の初確認。この辺りを行き交っているようで、他にも幾筋か足跡が見られました。

◎ 2018 - 19 シーズンの御神渡り観察記録 (でき始めから現在まで)



12月11日
湖面の凍結から数日後、氷が盛り上がり始めているのを確認。高さはまだ10cmほど



12月25日
←の場所から数m東に別の筋が形成され、発達を始める。高さは20~30cmほど



1月8日
年末年始の晴天続きと寒さで大きく発達。高さは50cmほどで昨年と同じぐらい



1月15日
さらに巨大化し、ほぼピークの状態。高さは最大で1mほどに達する



1月26日
20cmほどの積雪で少し埋もれる。ただし、氷の盛り上がりはまだ十分確認できる



2月11日
現在の状況。積雪が増え、高く盛り上がった部分以外はほとんど雪に埋もれている



■今季一番の寒さで観察会

9日、自然ふれあい行事「釧路湿原フィールドウォッチング」を茅沼蝶の森周辺で開催しました。当日の最低気温は今季一番の寒さ氷点下2.9度を記録。はじめに雪景色のシラルトロ湖をスノーシューで散策すると湧水の場所はフロストフラワー（霜の花）で覆われ、流れ出る水面から湯気が上がり、その周りにはタンチョウやキタキツネ、エゾシカなどの足跡がありました。また、サラミのようなハンノキの雄花穂、鎧をまとったようなミズナラの芽、カチカチのエゾノコリンゴの実などの植物を観察しながら、林の中にあつた炭窯跡や縄文時代の竪穴住居跡など、遺跡を通して当時の生活の様子を見ることができました。

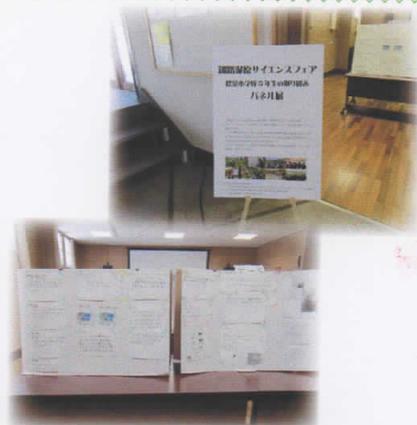
最後にS L冬の湿原号の勇姿を間近に見て行事を終えました。



【パネル展】小学生による湿原学習の発表

2月5日(火)～12日(火)までの期間、標茶小5年生による湿原学習の発表展示を行いました。この展示は小学生が湿原のいきものや成り立ちなどについて学習した結果を発表したもので、釧路湿原自然再生協議会が進める、釧路湿原とその周辺環境について学ぶ機会づくりの一環として行われました。

子供ならではのユニークな視点あり、毎日釧路湿原の自然を見ている我々でも答えられないようなマニアックなテーマありと盛りだくさんの内容で、何よりも手書きで作られた発表ボードから、子供たちの頑張りが伝わってきました。



3月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

◎塘路フィールドウォッチング

[日 時] 3月2日(土) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 塘路湖エコミュージアムセンター

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

☆湿原の裏山でスノーシューハイク

[日 時] 3月3日(日) 10時～12時

[定 員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

☆申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで (0154-65-2323)

◆日出・日入時間 1/15(6:50,16:13).1/31(6:38,16:33).2/14(6:21,16:51)

～編集後記～

■立春を過ぎ、記録的な寒波の影響で、我が町標茶町は最低気温氷点下2.9度を記録しました。寒さを乗り越えて痛いと言ってもいいくらいの冷え込みでした。さすがにこの寒さでお隣にある鶴の来る駅「茅沼駅」には鶴(タンチョウ)の姿は見かけませんでしたが、雪原を照らす太陽の光は明らかに力強さを増してきました。寒さの底もそろそろ見えて来たようです。もうしばらく辛抱して春を待ちましょう。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004

E-mail: emc@hokkai.or.jp

Instagram  torokoemc

開館時間: 10:00～16:00

(4～10月: 17:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料